

平成29年度 水道事業会計決算のあらまし

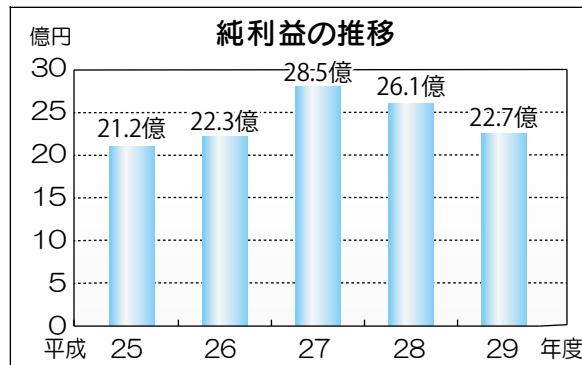
平成29年度の決算が市議会で認定されましたので、その内容についてお知らせします。



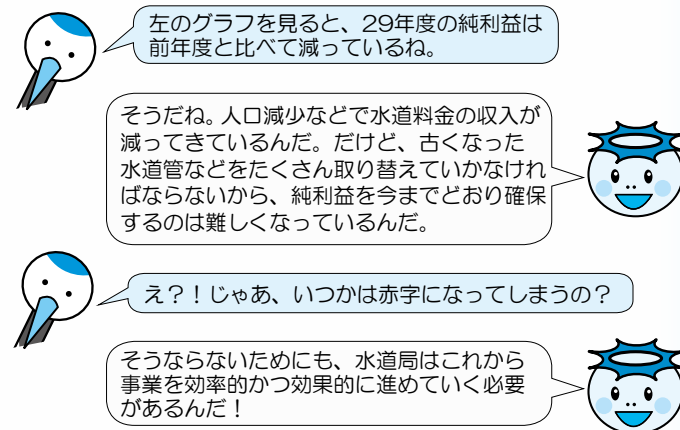
◆ 平成29年度決算のポイント

● 純利益は約22億7,000万円

平成29年度の純利益は、水道料金収入が減少したことや、古くなった水道管などをより多く取り替えたために減価償却費などの費用が増加したことから、前年度より、約3億3,900万円減少の約22億7,000万円となりました。



※ 水道事業の純利益は、水道施設の整備や借入金の返済に使われます。



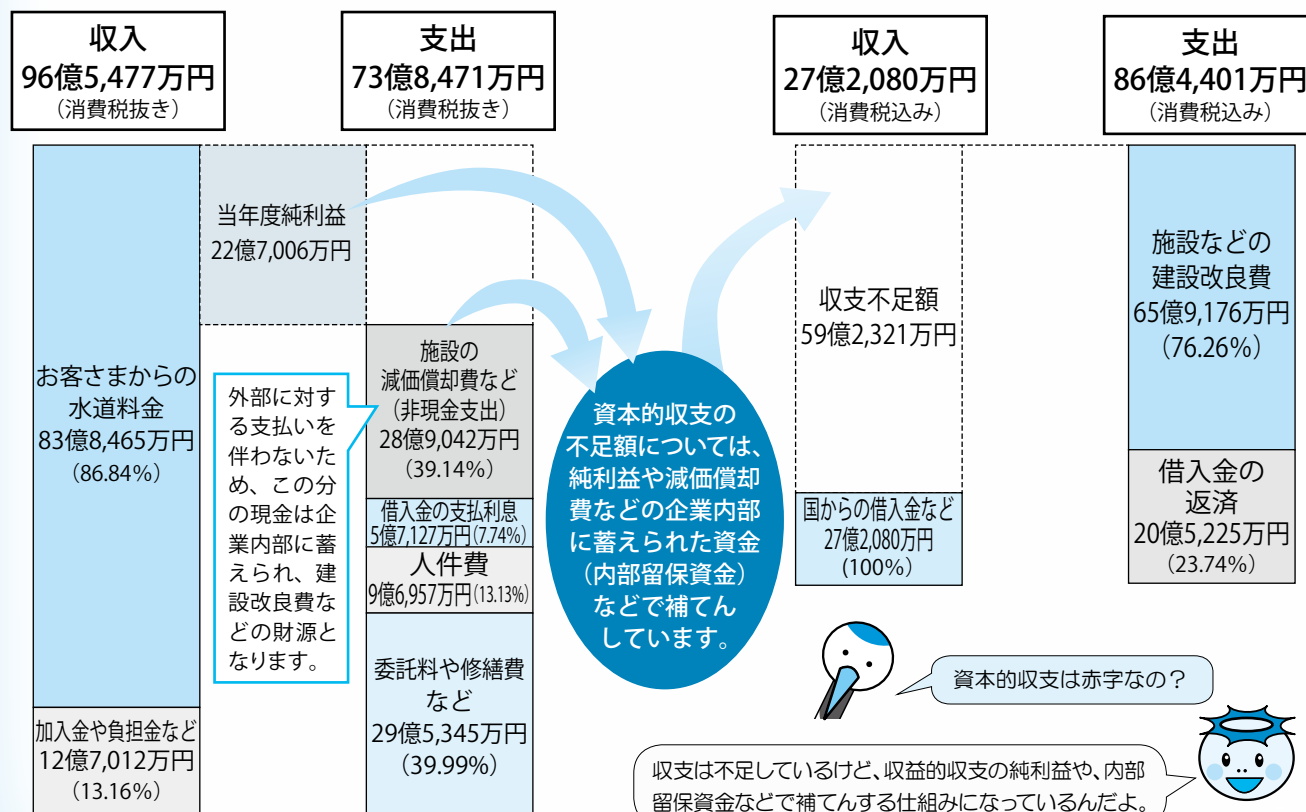
◆ 水道事業は収益的収支と資本的収支の2本建ての会計になっています!

収益的収支

(水道料金等の収入と水道水をつくり送り届けるための費用など)

資本的収支

(建設改良のために調達した資金と建設改良のための費用など)



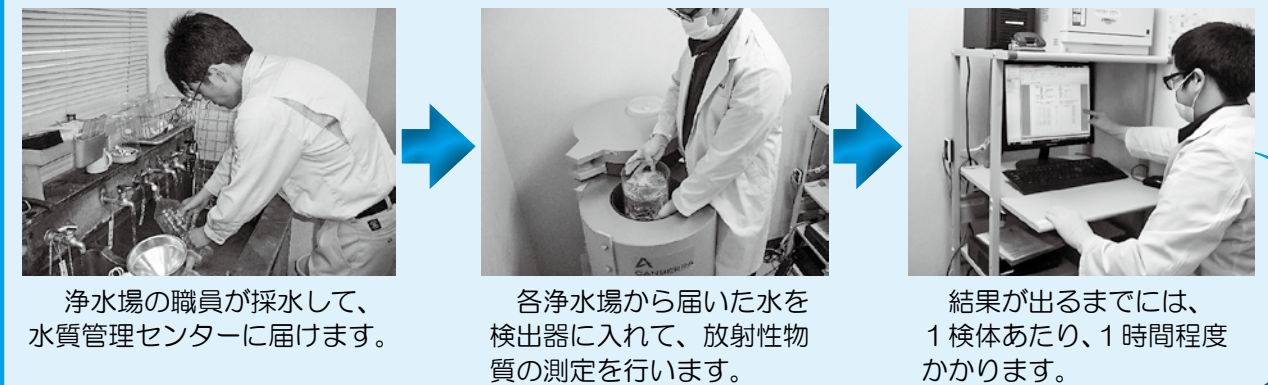
水道水の検査 ～安全でおいしい水を～



放射性物質検査について

水質管理センターでは、東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故発生後、福島県の計画に基づき、水道水に含まれる放射性物質について検査を実施し、水道水の安全を確保しています。事故発生から7年半以上が経過していますが、検査は現在も継続しています。

放射性物質検査の流れ



検査項目	検査結果	検査項目	検査結果
① 浄水場	3回/週 不検出 (ND)	⑤ 浄水場1号ポンプ	1回/週 不検出 (ND)
② 上野原浄水場	3回/週 不検出 (ND)	⑥ 浄水場2号ポンプ	1回/週 不検出 (ND)
③ 山手浄水場	3回/週 不検出 (ND)	⑦ 浄水場3号ポンプ	1回/週 不検出 (ND)
④ 山手浄水場	3回/週 不検出 (ND)	⑧ 浄水場4号ポンプ	1回/週 不検出 (ND)

※ 検査結果は、国の原子力規制委員会が公表した「飲料水の放射性物質モニタリング検査実施計画」に基づき、浄水場内で採水した浄水後の水道水を、水質管理センターで週3回「実施」しているものです。
平成29年4月～7月の検査結果は、右の表のとおり、いずれも不検出でした。
なお、最新の検査結果など、詳細は水道局ホームページにも掲載しています。



放射性物質の測定結果および水質検査の結果は、水道局ホームページや広報紙「すいどういわき」で公表しています。(8月～11月の測定結果はP7に載せています。)
ホームページアドレス <http://www.city.iwaki.lg.jp/suido.html>

水質検査について

水道局では、お客さまに安全で良質な水道水を24時間365日お届けするために、検査項目や採水場所、検査回数などを定めた水質検査計画※を毎年度策定し、厳しい水質検査を実施しています。水質検査は、法令で定められた残留塩素などの毎日水質検査【毎日検査項目3項目】と一般細菌などの定期水質検査【水質基準項目51項目】や放射性物質検査のほか、いわき市独自に150項目の検査を実施し、より高い安全性を確保しています。

- 毎日水質検査**
 - 検査場所 市内の公園や集会場等の給水栓(蛇口) 48カ所
 - 検査方法 蛇口から採水し、色、濁りがないことを確認し、測定器で消毒用の塩素が基準のとおり残っているかを確認します。また、実際に飲んでみて、においや味に異常がないかを毎日確認しています。
 - 定期水質検査**
 - 検査場所 浄水場の入口 14カ所(河川などの原水)
浄水場の出口 4カ所(浄水場でつくられたばかりの水道水)
浄水場から遠くにある公園などの蛇口 18カ所(家庭に送られた水道水)
 - 検査方法 検査場所から採水し、水質管理センターにて理化学検査や微生物検査などを行い、お届けする水道水が、常に安全であることを定期的に確認しています。(項目により検査頻度が異なります。)
- ※ 水質検査計画は、水道局ホームページで公表しています。

